

【多発性骨髄腫】

レジメン名称 : IsaVRd(IMROZ)【18サイクル以降】

インターバル日数 :

28 日

催吐性リスク : 軽度

基準日 day1

使用する抗がん剤:

Rp	手技	薬剤名称	標準値	上限値	投与	ルート	組織侵襲性
4	点滴静注	サークリサ点滴静注	10mg/kg	-	day1	フィルター付き	非炎症性
2	内服	レナデックス錠4mg	20mg/body	-	day1,8,15,22	-	-
3	内服	レブラミドカプセル	25mg/body	-	day1~21	-	-

Rp	手技	薬剤名称	用量/単位	day1	day8	day15	day22
1	点滴静注	生理食塩液 100ml ルートキープ用 点滴静注 * 点滴時間30分 投与経路:末梢ルートメイン	100ml	投与順1			
2	点滴静注	ポラミン注5mg ファモチジン静注20mg 生理食塩液 50ml 点滴静注 * 点滴時間15分 投与経路:末梢ルートメイン側管	1A 1A 50ml	投与順2			
3	点滴静注	生理食塩液 50ml * 点滴時間15分 投与経路:末梢ルートメイン側管	50ml	投与順3			
4	点滴静注	サークリサ点滴静注 生理食塩液 250ml 計250mlになるように調製 投与経路:末梢ルートメイン側管	10mg/kg 計250ml	投与順4			
5	点滴静注	生理食塩液 50ml * 点滴時間5分 投与経路:末梢ルートメイン側管	50ml	投与順5			

Rp	手技	薬剤名称	用量/単位	day1	day8	day15	day22
1	内服	アセトアミノフェン錠500mg	1000mg	1000mg			
2	内服	レナデックス錠4mg	20mg	20mg	20mg	20mg	20mg
3	内服	レブラミドカプセル	25mg	day1~21			

- ★ アセトアミノフェン、レナデックスはサークリサの投与1時間～15分前に投与
- ★ 75歳以上ではレナデックスの減量を考慮
- ★ 輸血時の間接クームス試験に影響あり
- ★ サークリサ投与速度

<初回> 25ml/h 1時間

50ml/h 30分

75ml/h 30分

100ml/h 30分

125ml/h 30分

以後150ml/h

<2回目> 50ml/h 30分

100ml/h 30分

以後200ml/h

<3回目以降> 200ml/h